

高大接続改革の方向性

～新学習指導要領の視点を踏まえて～

白井 俊

(独)大学入試センター 試験・研究統括補佐官(兼)審議役

白井 俊

2000年 文部省入省

2009年-2012年 徳島県教育委員会(学校政策課長、教職員課長、教育総務課長)

2012年-2015年 文部科学省高等教育局大学振興課課長補佐

2015年-2017年 経済協力開発機構(OECD)教育スキル局アナリスト

2017年-2019年 文部科学省初等中等教育局教育課程課教育課程企画室長

2019年- (独)大学入試センター試験・研究統括補佐官(兼)審議役

1. 高大接続改革とその背景
2. 新しい学習指導要領の考え方
3. 大学入学共通テストの方向性
4. 英語成績提供システム

高大接続に関する議論の経緯(一部)

1971年 中教審答申「今後における学校教育の総合的な拡充整備のための基本的施策について」(いわゆる四六答申)

1985年 臨教審第一次答申

1999年 中教審答申「初等中等教育と高等教育との接続の改善について」

2000年 大学審議会答申「大学入試の改善について」

2000年 大学審議会答申

- アドミッション・ポリシーの明示
- 評価尺度の多元化
- センター試験におけるリスニングテストの導入
- 受験機会の複数化(センター試験の複数回実施)
- 外部試験(英検、TOEFL等)の活用

2008年 中教審答申「学士課程教育の構築に向けて」

高大接続改革の議論・検討の経緯等(一部)

中央教育審議会へ諮問「大学入学者選抜の改善をはじめとする高等学校教育と大学教育の円滑な接続と連携の強化のための方策について」(平成24年8月)

教育再生実行会議「高等学校教育と大学教育との接続・大学入学者選抜の在り方について(第四次提言)」(平成25年10月)

中央教育審議会へ諮問「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」(平成26年11月)

中央教育審議会「新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革について(答申)」(平成26年12月)

教育課程部会「論点整理」をとりまとめ(平成27年8月)

論点整理の方向に沿って教科等別・学校種別に専門的に検討

中央教育審議会答申(平成28年12月)

幼稚園教育要領、小・中新学習指導要領告示(平成29年3月)

高等学校学習指導要領は本年度中に告示予定

「高大接続改革実行プラン」(平成27年1月)文部科学大臣決定

「高大接続システム改革会議」最終報告(平成28年3月)

「高大接続システム改革会議」最終報告(平成28年3月)

- 思考力・判断力・表現力の判定機能重視
- マークシート式問題の改善
- 記述式問題の導入
- 英語他技能を評価する問題の導入(民間試験の活用)
- 実施回数のあるあり方(IRT、等化などの技術的課題)

学習指導要領改訂における
「資質・能力の3つの柱」

- ① 生きて働く「知識・技能」の習得
- ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成
- ③ 学びを人生や社会に活かそうとする「学びに向かう力・人間性など」の涵養

出典 学習指導要領（平成29年3月）

高大接続改革[学力の3要素]

- ① 知識・技能の確実な習得
- ② (①を基にしつつ) 思考力・判断力・表現力
- ③ 主体性を持って多様な人と協働して学ぶ態度

出典 高大接続システム改革会議「最終報告」(平成28年3月)

大学において育む「学士力」

- 知識・理解
- 汎用的能力※（コミュニケーションスキル、数量的スキル、問題解決能力等）
- 創造的思考力と、それを支える統合的な学習経験
- 態度・志向性（自己管理能力、チームワーク、倫理観、社会的責任等）

出典 学士課程教育の構築に向けて（答申）（平成20年12月）

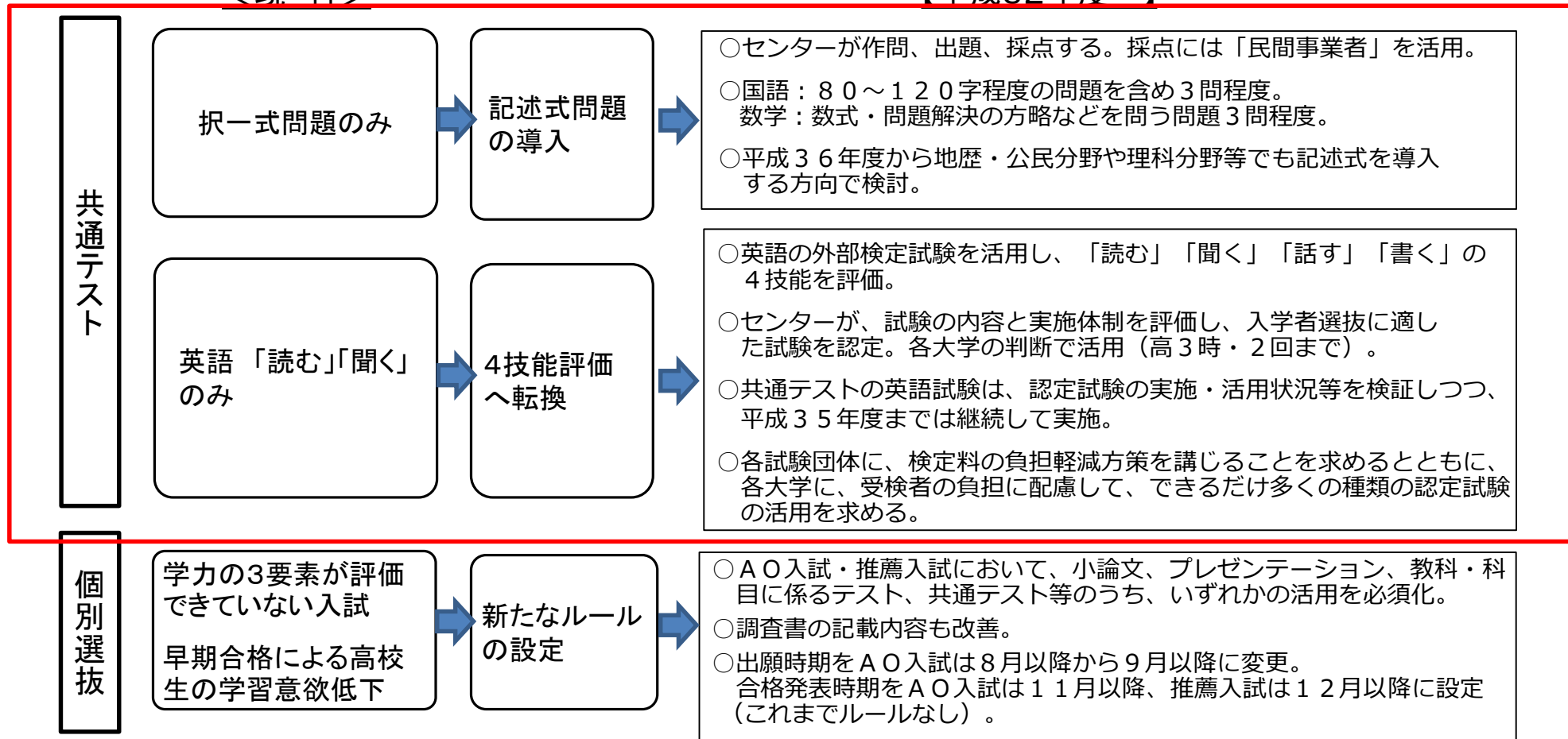
※学士力答申においては「汎用的技能」とされているが、ここで整理されているコミュニケーションスキルや数量的スキル等は、個々の身体的動作や器機の取扱い等に関わる個別の技能とは異なる、統合的な力のことであるので、中教審における資質・能力に関する議論の進展も踏まえ、本スライドでは「汎用的能力」としている。

大学入学者選抜改革

- ◆ 受検生の「学力の3要素」について、多面的・総合的に評価する入試に転換
 - ① 知識・技能 ② 思考力・判断力・表現力 ③ 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
- ◆ 高大接続改革実行プラン、高大接続システム改革会議最終報告に沿って、大学入学者選抜の改革を着実に推進
- ◆ 平成32年度「大学入学共通テスト」開始 ※記述式、英語4技能
平成36年度 新学習指導要領を前提に更に改革

<現行>

【平成32年度～】



大学の教育理念や大学入学時点で求める力が
どのようなものか、というメッセージが
試験問題を通じて受験生や
初等中等教育関係者に伝わる

良問を通じて高校生の学習意欲や
教員の指導改善の工夫を最大限に引き出し
高校教育の学習成果を高めることが
未来の創り手となる力の育成や
大学教育の基礎となる力の育成につながる